



水辺ライフスタイルの教科書

NO.5

JOUJOUKA
奥村雄二郎さん
愛子さん

自然と街のバランスの良さ、必要なものはある

上土には会いたくなるご夫妻がいる。

穏やかで父性すら感じる磁力のあるオーナーと、陽気ではつらつとした笑顔が素敵なおさま。

素敵なお洋服や小物を見に行きつつ、本当は2人に会いに来ているという人は少なくないと感じる。始めたきっかけはと聞いた。

「完全に偶然なんですけれども 20年近く前かな。この沼津で古着屋を始めた友達がいて。

店長として一緒に行ってくれない?みたいな感じで誘われて。

沼津は好きな土地だったんでそのまま来て、最初の2年はその彼に雇われて。

その店を引き継いで自分で始めて、もう17年。今の上土に来たのは3、4年前くらいですね。」



自然に飢えていた幼少期 後から気づいた思い出の土地。

オーナーの奥村さんは神奈川県の出身だ。なぜ「沼津」にたどり着いたのだろう。

「小学校低学年ぐらいの頃、親父の仕事に付き合って連れられてきたことがあって、その時は全然どこに行ったかなんて分からなかったんだけど、

二十歳過ぎてこちらに遊びにくるようになって東名のインターを降りた時、

ぐるめ街道からの風景を見てここだって解った。ここに来てたんだ!って。

小さい頃に育った場所は、全く自然がない工場地帯。でもものすごく飢えてたんですよ。

自然を求めてヘドロだらけの川に入って毎日遊んでました。

それに比べると、今は天国みたいです。

幼いながらに来た時はすごい気持ちよかったです。沼津港に行ったことも覚えていて。

幼い頃の原体験や印象は、
その時だけのものではないことに気づかされる。

一方、沼津出身の奥さまは、今も沼津を遊んでいる。
海まで歩いて30歩の場所に住んでいて、
夏はほぼ毎朝泳ぐそう。

「濁ってる日以外はほぼ毎朝泳いでます。
素敵なお寿司やさんの横を水着で通っていくっていう。
お寿司食べてるお客さんびっくりしてるよね。(笑)
水も綺麗なときは綺麗だし、エイとかもいるよ。」

ずっと沼津にいて、それで沼津好きってすごいよねと
オーナーが言うと、
「学生の時一回離れてからより思うようになった」と
笑った。



自然に自然を楽しむ お金かけなくても、遊んでいいける

沼津を自然に楽しんでいるお二人に改めて
ストレートに沼津の良さを聞いた。
「バランスがいいかなって思う。
一通りの物は揃っているんで丁度いいかな。
毎日毎日、食べ歩いたり、買い物したり
消費するわけじゃないんで。
このぐらいがバランスいいと思いますけどね。
必要なものがありますよ。」



それ以上に自然がすごく身近にある、そっちの方が大事だと思います。
海も川も山もあって、街がこんなに近いところはないからね。本当にバランスがいい。
与えられたものじゃなくて、自分でどんどん発見していく人、
精神的に独立している人は、とても暮らしやすい街だと思います。
お金をかけなくても遊んでいけますから。
自然からなる風合いや時の過程を大切にする
ビンテージカルチャーを扱うご夫妻ならではの沼津の価値観。
上土には、気持ちいい風が吹き抜けている。

Q
最近、魅力を再発見したものは?



JOUJOUKA (ジュジュカ)
TEL・055-954-0240
沼津市上土町71
営業時間 12:00 ~ 20:00
定休日 月曜日